

I. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、日本大学学生の学生生活を、勉学行動・課外活動行動・学生生活充実感・大学への要望・卒業後の進路などについて、その意識と行動実態を正しく把握し、今後の大学づくりおよび学生への教育指導の向上のための参考資料とすることを目的に実施した。

2. 調査の対象と方法

調査対象は、本大学（大学院を除く）の学生（第一部・夜間部、短期大学部、通信教育部を合わせた）69,112名の中から無作為に抽出（抽出率10%と30%）した8,003人を直接の調査対象として、有効回答回収率70%を目標に調査を実施した。

なお、サンプル数については各学部の学生数を基準として別表の抽出率で調査対象数を決定し、サンプリングの方法については学生番号を用い等間隔無作為抽出法によってランダム・サンプリングを行った。

質問票の配布及び回答票の回収については、次のいずれかの方法で行った。

- ① 調査対象となった学生を直接学生課又は研究室に呼び出し、内容の説明後に期限を指定して回答票を持参してもらう。（留置法）
- ② 学生生活委員、クラス担当等を通じて配布し、担当教員又は学生課窓口で回収する。
(留置法)
- ③ 調査対象となった学生に調査票と回答票を郵送し、期限を指定して学生課の窓口に持参又は返送してもらう。（郵送法）
- ④ 調査対象になった学生に日時・場所を指定して参集してもらい、その場で回答の上、回答票を回収する。（集団調査法）

3. 調査内容

調査内容については、設問の内容を「Ⅰ.所属学部・学年等」「Ⅱ.授業」「Ⅲ.学生生活充実感・満足感」「Ⅳ.学外の勉学活動・課外活動」「Ⅴ.不安・悩み」「Ⅵ.アルバイト・奨学金」「Ⅶ.入学から現在までの意識・行動」「Ⅷ.卒業後の進路」の8分野に分けた。質問項目については学生が回答しやすいように配慮しながら30問の設問になっている。

なお、具体的な質問内容については、巻末の質問用紙を参照されたい。

4. 調査期間

- ・調査実施期間 平成27年6月 8日(月)～19日(金)
- ・調査回答票本部回収期限 平成27年6月30日(火)

5. 回答票回収状況

- ・調査対象者 8,003人
- ・有効回答回収数 6,007人
- ・有効回収率 75.1%

なお、各学部の調査対象数と回収数は別表のとおりである。

(別表)

学部別調査対象数及び回収数

学部名	学生数	標本数	回収数	回収率	学部名	学生数	標本数	回収数	回収率
法学部	6,727	673	563	83.7%	医学部	745	224	224	100.0%
文理学部	8,693	869	483	55.6%	歯学部	806	242	234	96.7%
経済学部	6,690	669	307	45.9%	松戸歯学部	755	227	170	74.9%
商学部	5,934	593	546	92.1%	生物資源科学部	7,102	710	645	90.8%
芸術学部	4,100	410	341	83.4%	薬学部	1,569	471	204	43.3%
国際関係学部	3,019	302	263	87.1%	法学部第二部	657	197	93	47.2%
理工学部	9,313	931	742	79.7%	短期大学部	927	278	247	88.8%
生産工学部	6,414	641	580	90.5%	通信教育部	1,198	120	46	38.3%
工学部	4,463	446	319	71.5%	合計	69,112	8,003	6,007	75.1%

注1 学生数は、平成27年5月1日現在の実数であり、これを母集団とした。

注2 医学部、歯学部、松戸歯学部、薬学部、法学部第二部及び短期大学部の標本抽出率は30%である。その他の学部は10%抽出である。

注3 通信教育部は、昼間スクーリングの学生を母集団とした。